

さわやか



医療内包型介護保険施設

北九州古賀病院 介護医療院のご案内

『北九州古賀病院 介護医療院』は病院の中にある在宅施設です。
医療・看護・介護・リハビリなどのスタッフが協同し
“もっと明るく生きる”を大切に、個々に応じた自立支援を行います。

「医療、介護、リハビリ」の継続的な提供

病院併設のため、他の介護保険施設に比べ、
医療必要度・介護必要度の高い方が対象となります

「住まい」としての機能



地域に開かれた施設

ご相談・お問合せ

地域医療連携室(092-942-4131)



編集後記

新年明けましておめでとうございます。
2019年からコロナウイルスが流行。
未曾有の出来事に、生活様式も変化していきました。今では、
全く違う生活様式に、やっと慣れてきた感じがします。
新たな脅威が迫ってくる昨今ではありますが、感染拡大防止
に最大限努力していきます。
今回から、広報誌「さわやか」でも職員参加型の広報誌にして
いきたいと考え、職員家族のイラストを採用しました。今後も
職員が参加しやすい企画を考えていきたいと思っています。

渡邊



【入院患者さん達の力作です】

ご案内

当院では、心身のさまざまな不調に対して、きめこまやかな治療ができる体制を整えています。
お気軽にご相談ください。

- 診療科目 内科・呼吸器内科・精神科・神経内科・リハビリテーション科
- 外来診療時間 平日／9:00～12:00 ※受付は11:30まで(予約制)
休診日／土曜日・日曜日・祭日 ※新患受付は9:00～11:00まで
- 設備概要 病床数／474床
- 介護保険施設 北九州古賀病院 介護医療院 120名

外来診療担当医一覧

	月	火	水	木	金
内科	河野	小川	木元	田浦	高田
	大橋	河村	中村	富田	大脇
神経内科	(福大)			(福大)	
精神科	木村	木村	渡邊(第1・3)	生島	生島
心療内科		早川		早川	
※受付:午前8:30～11:30 (初診～11:00)					

患者さんの権利と責務に関するお知らせ

北九州古賀病院は、患者さんの権利を尊重し、病院の基本理念に基づいて良質な医療の提供を目指します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を受ける権利
患者さんは、適切で公平かつ良質な医療、看護、介護のサービスを継続して受ける権利があります。
2. 治療方法などを自由に選択する権利
患者さんは、治療方法などを自分で選択し、また拒否する権利があります。
3. 自分の病状等について十分な説明を受ける権利
患者さんは、自分の病状、検査、治療などについて、納得できるまで十分な説明を受ける権利があります。
4. 個人的情報について秘密が守られる権利
患者さんは、医療従事者が知り得た個人的情報について、秘密が守られる権利があります。
5. 個人の尊厳が保たれる権利
患者さんは、プライバシーが保護され、また個人の尊厳が保たれる権利があります。

患者さんの責務

1. 自身の健康に関する情報を提供する責務
病院に対し患者さん自身の健康に関する情報を出来るだけ正確に提供して下さい。
2. 医療に協力する責務
医療に協力し、他の患者さんの治療・療養に支障を与えないように配慮して下さい。



社会医療法人 北九州病院
北九州古賀病院

〒811-3113 古賀市千鳥2丁目12番1号
TEL 092-942-4131 FAX 092-943-9622
https://www.kitakyu-hp.or.jp/contents/kitahos_koga.htm

新年のごあいさつ



院長
橋爪 誠

新年明けましておめでとうございます。
 昨年はCOVID-19との闘いの年でした。しかし、Tokyo 2020の開催は、様々な環境下でオリンピックやパラリンピックに向けて頑張ってきた多くの選手達の熱い思いを肌を感じ、感銘を深く受けると同時に、大きなエネルギーを貰うことができ、何物にも換え難い思い出となりました。Tokyo 2020は人間には無限の可能性があり、自分の思いを実現するには不撓不屈の精神が不可欠である事を教えてくれました。
 北九州古賀病院は、患者さんやそのご家族の方が満足して頂ける病院を目指し、地域医療のために今年も尽力する所存です。
 本年も宜しくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副院長
小川 芳明

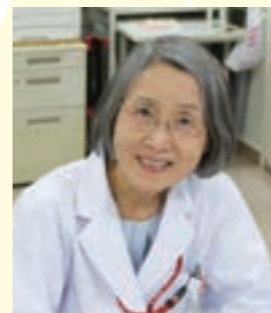
謹んで新年のお慶びを申し上げます。
 昨年はCOVID-19感染対策に明け暮れた一年でした。コロナ禍の最中の6月、北九州宗像中央病院の院長へ栄転された宮崎先生(呼吸器内科)の後任として、牟田先生(神経内科)とともに副院長に就任し、主として地域医療連携室を担当しています。7月末に牟田先生が退職され、専門性が高く業務貢献度が多大なお二人の先生を相次いで失うことになりました。一般外科医の私は、自らの非力を痛感し当惑することの連続でしたが、各部門の皆様の協力を得て、何とか今日に至っています。医療を取り巻く環境は厳しく、本年も当院は新たな試練に見舞われるかもしれませんが、地域の医療・介護に貢献すべく、皆様と一丸となって努力してまいりたいと存じます。



事務副部長
藤浪 浩一

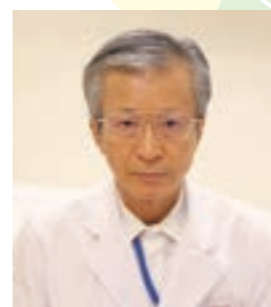
新年あけましておめでとうございます。
 昨年7月より、NTT西日本からの出向という形で、古賀病院 事務部でお世話になっております。
 出身は宮崎県高鍋町という、あまりなじみのない小さな田舎町で、食べものでは、天然の岩ガキ、馬渡の餃子などが多少有名。全国区となると、高鍋高校ラグビー部が今年で11年連続の全国大会出場を果たし、ラグビーファンの間では名を知られているところです。私も高校時代はこのラグビー部に所属し、大学、社会人と通算17年間楯円形のボールを追いかける日々を過ごしていました。
 今回、病院という初めての職場で勤務をさせていただくこととなりましたが、これまで培った精神力、体力で皆様にも少しでも早く戦力として認めていただけるよう、全力で業務に邁進してまいります。

Dr 紹介



医師
荒木 奈々恵

明けましておめでとうございます。
 昨年の9月より北九州古賀病院にお世話になっています。
 どうぞよろしくお願いいたします。
 出身は京都で、趣味は低山の山歩きです。2年の予定で訪れた福岡が、第2の故郷になりました。透析医療に十数年従事した後、当時の北九州津屋崎病院(現、北九州宗像中央病院)に入職し、昨年の5月まで、26年間高齢者医療に携わってきました。長い間双方の病院では、親密な交流がありましたので、院内のあちこちで、懐かしい再会があり、一方で新しいシステムに戸惑いもりの日々です。当初白衣の洗濯で、「ズボンのゴムはプレスしない」と申し送られていて、びっくり。病院間の情報伝達の凄さに感動しました。



医師
早川 洋

皆様明けましておめでとうございます。
 私は昭和58年に大学卒業後、九大心療内科に入局し、精神療法の研究にいそしんで来ました。平成14年より北九州市立医療センター心療内科、平成30年より北九州総合病院心療内科に在職し、令和2年6月より当院勤務になりました。最近では1980年代にフィンランドで始まったオープンダイアログ(開かれた対話)に興味を持って研究しています。患者さんも含めて家族・他職種の皆さんともっと多くの対話ができると治療的かなと思います。令和の里・大伴旅人邸近くの学業院中学(奈良時代の大学の名を拝借)出身です。正門と塀は古風で超立派です。

リハビリテーションの一環として作成された患者さんの作品を紹介します